



<テーマ1>【利用しやすく親しまれる庁舎】

すべての窓口を1階に集約した明快な庁舎**① 1階に「市民窓口」を集約したワンフロアサービス**

- 行き先が一目でわかるエントランスホールが市民を迎えるれます。
- 市民窓口機能を1階に集約した、ワンフロアサービスを実現します。
- 1階南側の「まんなか広場」に面した市民・観光客がつながる「交流テラス」には情報コーナー・売店・キッズスペース・展示や集まりが出来る多目的スペースを配置します。
- 高齢者の福祉・子育てに関する窓口機能を1階にまとめることにより、上下移動を極力少なくしたフロア構成にするなどユニークなデザインに配慮します。
- 多世代や多様性を受け入れた誰もが使いやすいサイン計画とします。

② 低層・4階建てのシンプルな庁舎

- 住宅の多い周辺環境との調和に配慮し、建物による圧迫感をなくすため庁舎は低層の4階建てに抑えます。
- 1階の市民窓口を集約し、2階に専門部署をまとめます。来庁者は1階2階ですべて用事を済ませることができます。
- 2階南側に「まんなか広場」に面した職員だけでなく市民も利用できる「市民協働会議室」を配置します。
- 3階に市長・執行部の執務室、4階に議会関連機能をまとめます。

（ユニークなデザインの一例）

<テーマ2>【安全・安心な庁舎】

市民・職員を守りつづける庁舎**安全性と経済性に優れた堅牢な構造計画**

- 外周部とコア回りは堅牢な鉄筋コンクリート造で計画し、耐震構造でI類の耐震安全性を確保します。
- 整形で適切なスパン割りと、適材適所の構造種別により経済的な部材断面かつ制約のない自由空間を実現します。
- 待合と執務室は大地震時に天井脱落のリスクがないスケルトン天井を計画し、市民と職員の安全を確保します。



<テーマ2>【安全・安心な庁舎】

災害時、迅速に機能転換できる施設計画**① 迅速に機能転換する日常の備え**

- 庁内の会議室と災害対策本部を映像・音声設備で外部と接続し、活動従事者がリアルタイムに情報を共有できる設備計画を行います。
- 日常的に防災活動を強化しておくことで、緊急災害時の対応をスムーズにします。

② 想定外を想定するバックアップ対策

- あらゆる災害を想定し、ライフラインを多重化することにより、事業継続性が維持できるバックアップ機能を整備します。

